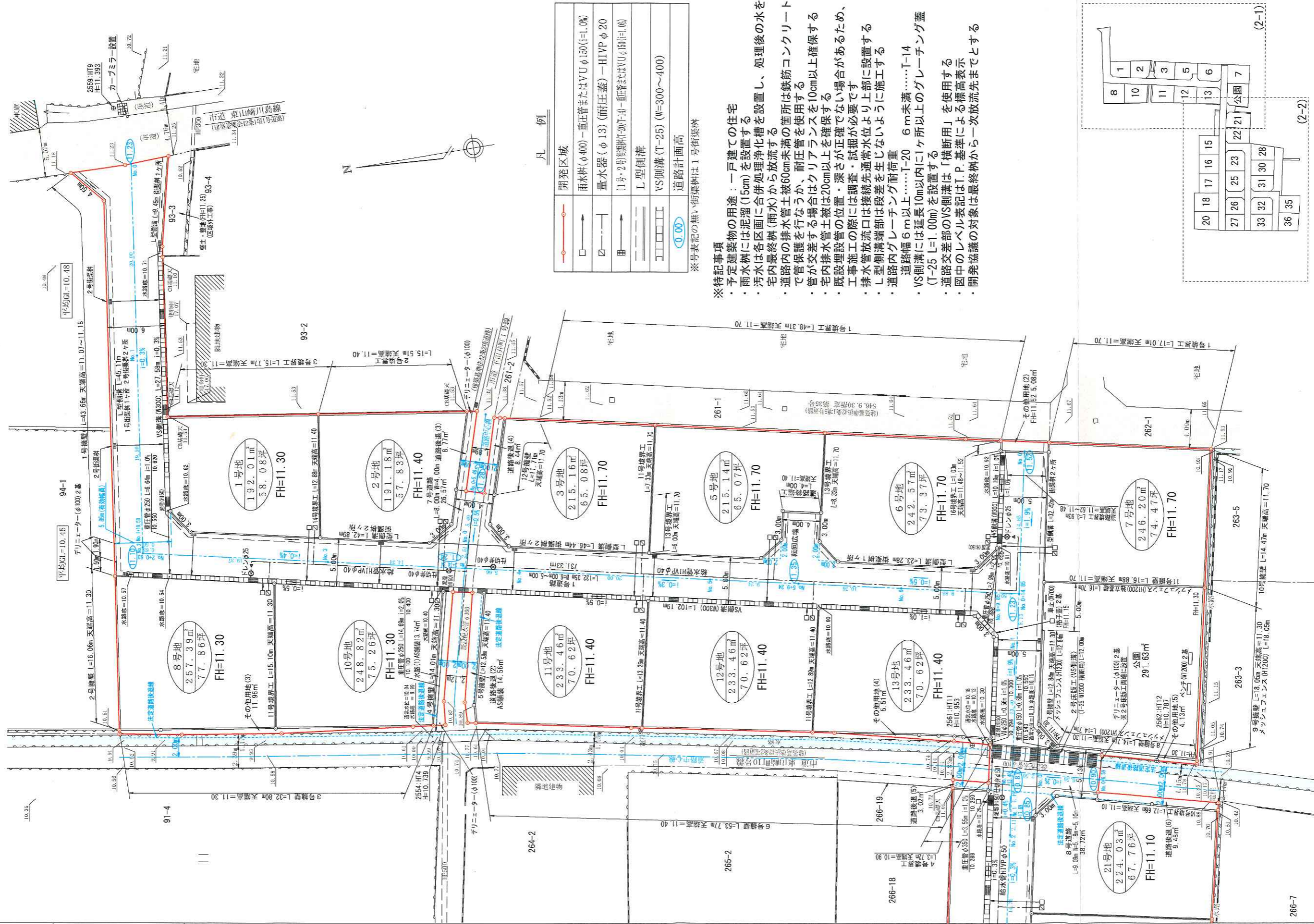


土地利用計画図

土地の所在

高松市下田井町字天神前93番1、94番2、95番、
同所字助成263番1、同番4、266番2、同番5、同番21、
267番7及び地先市道・水路

2-1

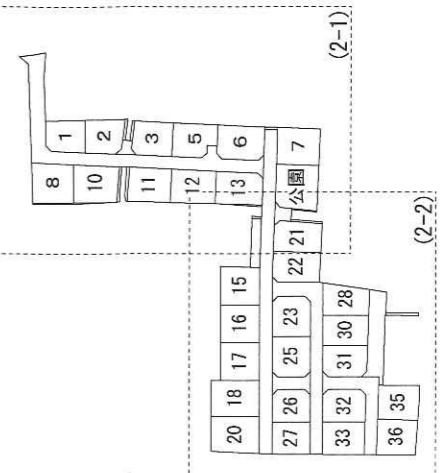


凡 例	
	開発区域
	雨水幹(φ400)ー重圧管またはVUφ150(I=1.0%)
	量水器(φ13)(耐圧蓋)ーHIYPφ20
	(1号・2号)側溝幹(φ100)ー重圧管またはVUφ150(I=1.0%)
	L型側溝
	VS側溝(T-25)(W=300~400)
	道路計画高

※号表記の無い街渠線は1号街渠線

※特記事項

- ・予定建築物の用途：一戸建ての住宅
- ・雨水幹には泥溜(15cm)を設置する
- ・汚水は各区画に合併処理浄化槽を設置し、処理後の水を宅内最終樹(雨水)から放流する
- ・道路内の排水管土被60cm未満の箇所は鉄筋コンクリートで管保護を行なうが、耐圧管を使用する
- ・管が交差する場合はクランプを10cm以上確保する
- ・宅内排水管土被は20cm以上を確保する
- ・既設埋設管の位置・深さが正確でない場合があるため、工事施工の際には調査・試掘が必要である
- ・排水管放流口は接続先通常水位より上部に設置する
- ・L型側溝溝端部は段差を生じないように施工する
- ・道路内グレーチング耐荷重
 - ・道路幅6m以上……T-20 6m未満……T-14
 - ・VS側溝には延長10m以内に1ヶ所以上のグレーチング蓋を設置する
 - ・道路交差部のVS側溝は「横断用」を使用する
 - ・図中のレベル表記はT.P.基準による標高表示
- ・開発協議の対象は最終樹から一次放流先までとする



開 発 許 可
年 月 日

第 令 和

年 年

月 月

日 日

号 号

申 請 者

代表取締役 増元 浩二
アイラックホーム株式会社

作 成 者
住所・氏名

森 和 夫
高松市牟礼町牟礼二九四九番地
土地家屋調査士



縮 尺 1/400

土地利用計画図

土地の所在

高松市下田井町字天神前93番1、94番2、95番、
同所字助成263番1、同番4、266番2、同番5、同番21、
267番7及び地先市道・水路

2-2

開発許可
年月日

第 令和 年 月 日
号

申請者

代表取締役 増元 浩二
アイラックホーム株式会社

作成者
住所・氏名

森 和 夫
高松市牟礼町牟礼二九四九番地
土地家屋調査士



R2. 7. 8

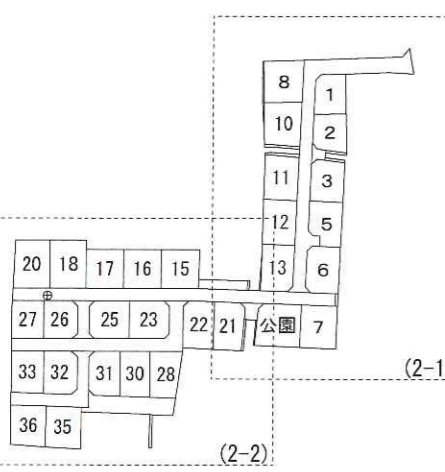
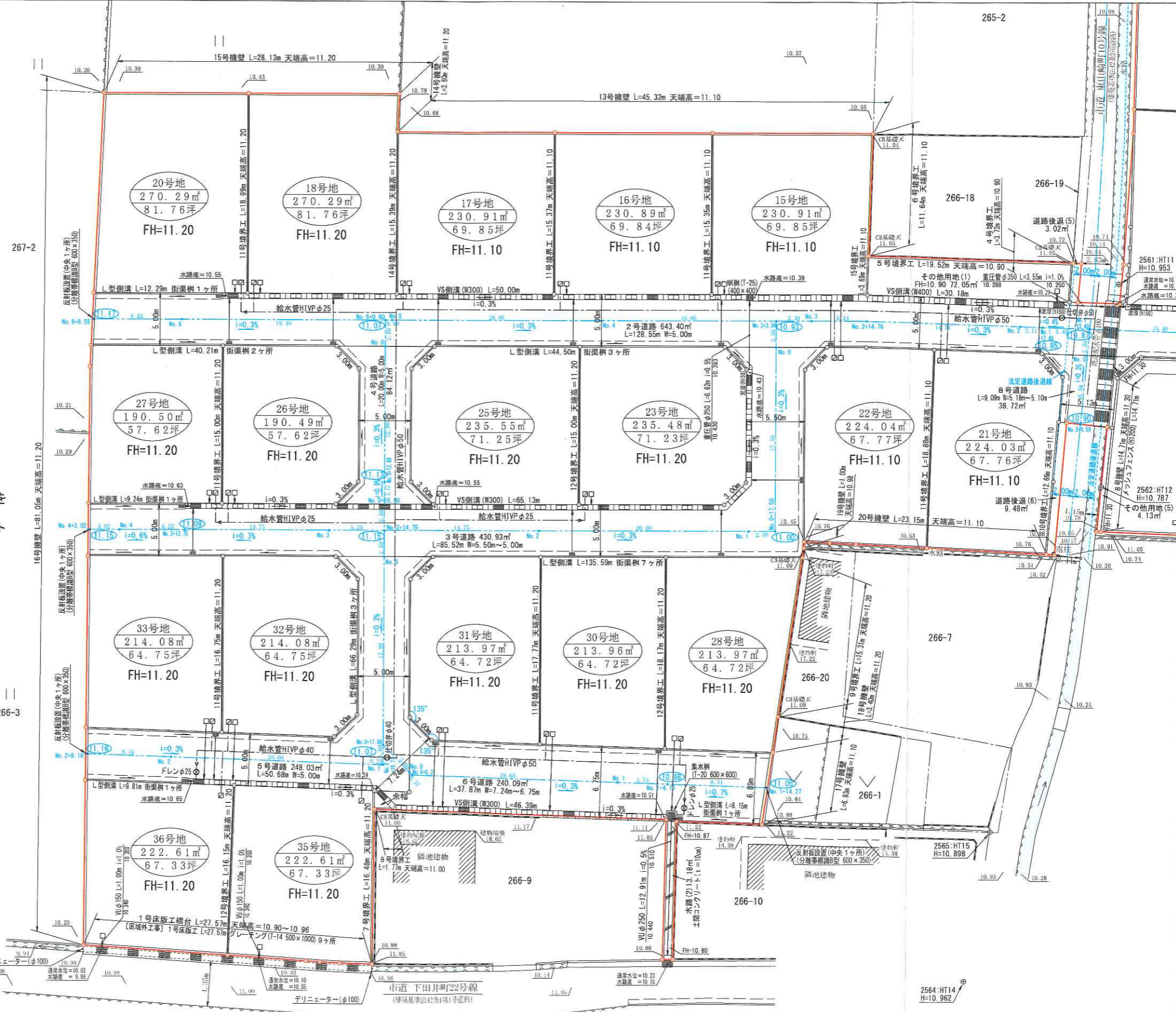
凡例

	開発区域
	雨水樹(φ400) - 重圧管またはVUφ150(i=1.0%)
	量水器(φ13)(耐圧蓋) - H1VPφ20
	(1号・2号)街渠溝(T-20/T-14) - 重圧管またはVUφ150(i=1.0%)
	L型側溝
	VS側溝(T-25)(W=300~400)
	道路計画高

※号表記の無い街渠溝は1号街渠溝

※特記事項

- ・ 予定建築物の用途：一戸建ての住宅
- ・ 雨水樹には泥溜(15cm)を設置する
- ・ 汚水は各区分に合併処理浄化槽を設置し、処理後の水を宅内最終樹(雨水)から放流する
- ・ 道路内の排水管土被60cm未満の箇所は鉄筋コンクリートで管保護を行なうか、耐圧管を使用する
- ・ 管が交差する場合はクリアランスを10cm以上確保する
- ・ 宅内排水管土被は20cm以上を確保する
- ・ 既設埋設管の位置・深さが正確でない場合があるため、工事施工の際には調査・試掘が必要
- ・ 排水管放流口は接続先通常水位より上部に設置する
- ・ L型側溝端部は段差を生じないように施工する
- ・ 道路内グレーチング耐荷重
道路幅6m以上……T-20 6m未満……T-14
- ・ VS側溝には延長10m以内に1ヶ所以上のグレーチング蓋(T-25 L=1.00m)を設置する
- ・ 道路交差部のVS側溝は「横断用」を使用する
- ・ 図中のレベル表記はT.P.基準による標高表示
- ・ 開発協議の対象は最終樹から一次放流先までとする



縮尺 1/400